

診察できる医療機関

認知症疾患医療センターのほか、「物忘れ外来」のある医療機関や、精神科、神経内科、脳神経外科などの診療科目のある医療機関を受診されることをお勧めします。

認知症疾患医療センター

認知症疾患医療センターは、認知症についての専門医療相談、鑑別診断や治療、関係機関との連携などを行う医療機関です。まずはお電話でご相談ください。

三隅病院
TEL : 0837-43-0711
住所：長門市三隅中3242

泉原病院
TEL : 0834-21-6817
住所：周南市泉原町10-1

萩病院
TEL : 0838-25-1498
住所：萩市大字堀内278

いしい記念病院
TEL:0827-44-1464
住所:岩国市多田3-102-1



主な相談窓口

お住まいの市町の相談窓口まで
ご相談ください。



市 町	電話番号
下関市長寿支援課	☎ 083-231-1345
宇部市高齢者総合支援課	☎ 0836-34-8303
山口市高齢福祉課	☎ 083-934-2758
萩市(地域包括支援センター)	☎ 0838-25-3521
防府市高齢福祉課	☎ 0835-25-2964
下松市長寿社会課	☎ 0833-45-1838
岩国市高齢者支援課	☎ 0827-29-2566
光市(地域包括支援センター)	☎ 0833-74-3002
長門市(地域包括支援センター)	☎ 0837-23-1244
柳井市高齢者支援課	☎ 0820-22-2111
美祢市(地域包括支援センター)	☎ 0837-54-0138
周南市地域福祉課	☎ 0834-22-8200
山陽小野田市(地域包括支援センター)	☎ 0836-82-1149
周防大島町(地域包括支援センター)	☎ 0820-73-5506
和木町(地域包括支援センター)	☎ 0827-52-2196
上関町(地域包括支援センター)	☎ 0820-62-1780
田布施町健康保険課	☎ 0820-52-5809
平生町(高齢者地域包括支援センター)	☎ 0820-56-8000
阿武町総合相談センター	☎ 08388-2-3313

山口県 若年性認知症支援相談窓口

山口県立こころの医療センターに、若年性認知症支援コーディネーターが配置されており、若年性認知症についての相談や情報提供を行っています。お気軽にご相談下さい。

電 話 : 0836-58-2212

開 設 日 : 月～金曜日 (年末年始・祝日除く)

開設時間 : 午前9時～午後5時

若年性認知症コールセンター

認知症介護研究・研修大府センターに専門教育を受けた相談員が常駐しており、全国的に対応しています。

電 話 : 0800-100-2707 (通話無料)

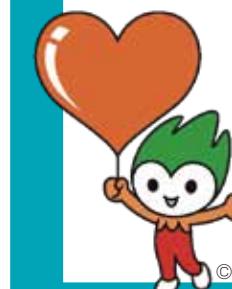
開 設 日 : 月～土曜日 (年末年始・祝日除く)

開設時間 : 午前10時～午後3時

認知症は高齢者だけの
病気ではありません。



若年性認知症 をご存じですか?



山口県立こころの医療センター
山口県長寿社会課

©山口県

若年性認知症とは？



Q. どんな病気ですか？

A. 認知症は一般的に高齢者に多い病気ですが、ときに65歳未満で発症することもあり、それらの場合「若年性認知症」と呼ばれています。記憶力や判断力などの脳の働きが低下し、日常生活や仕事など普通の生活に支障が出てきます。働き盛りの世代で発症した場合、より多くの困難に直面し、支援も必要となります。



Q. どんな原因疾患がありますか？

A. 脳が萎縮するアルツハイマー型認知症や脳血管性認知症、前頭側頭型認知症、レビー小体型認知症／パーキンソン病による認知症などがあります。



Q. どのくらいの人が発症しているのですか？

A. 全国の若年性認知症者は35,700人と推計されています。(出典:令和2年3月 日本医療研究開発機構認知症研究開発事業による「若年性認知症の有病率・生活実態把握と多元的データ共有システムの開発」)



Q. 発症したらどんな心配がありますか？

A. ①仕事の継続が困難になることでの経済的問題
②介護により配偶者や家族も仕事に支障が出る
③本人の介護と並行して子育てや親の介護など、主介護者にかかる負担が大きい
(高齢の親が介護者になる場合もある)
④親の病気による子どもへの心理的影響
⑤若年性認知症に対する周囲の理解不足
(周囲からの孤立)

思い当たることはありますか？



<日常生活の場面>

- 大事な約束を忘れる
- 忘れ物が多くなる
- 金銭管理ができなくなる
- 同じ料理ばかり作る
- 味付けが変わる
- 同じものをいくつも買う
- 趣味に関心がなくなる
- 外出したり、人前に出たりするのを嫌がる
- 性格が変わったように感じる
- 怒りっぽくなる
- 感情的になる
- 車の運転が危なくなったり（小さな事故を繰り返す）

記憶障害？

低理判断？
力力の

障害見当識？

障害実行機能？

行動社会的障害？

<仕事の場面>

- スケジュール管理が適切にできない
- 仕事で失敗を繰り返す
- 複数の作業を同時にこなさなくなる
- 段取りが悪くなり、作業効率が低下する

脱抑制？

注意障害？

<体調>

- 夜眠れない
- 頭痛、耳鳴り、めまいがする
- イライラする
- やる気が出ない
- 疲れやすい

このようなサインを見逃さないで
～「いつもとは違う」と感じたら、ご相談ください～

早期受診、早期発見が大事！



「何かおかしい」と感じていても、疲れやストレスのためと思い込み、受診が遅れることがあります。

「もう少し様子をみよう」などと自分で判断せずに、早めに受診しましょう。他の病気と同様、認知症も「早期発見」が大切です。

①治る病気を見逃さないようにしましょう

「治療すれば治る認知症」や、うつ病などの「見せかけの認知症」が見つかることがあります。

②早期治療で進行を予防できます

アルツハイマー型などの認知症では、薬で進行を遅らせることができます。

③症状が軽い段階から準備できます

☆本人が病気を理解できる間に、本人や家族、周りの人が認知症のことを正しく知ることで、将来のことを考えて生活の工夫をしたり、必要な情報を集めたり、準備をしておくことができます。

☆職場での理解と協力を得て、早めに働き方を見直すことなどにより、就労期間が延長できる場合があります。

④初診日が重要です

在職中(厚生年金加入中)に受診することで、障害厚生年金を受給できる可能性が高くなります。
(年金の受給要件を満たしている場合)

上手な福祉サービスの活用を！



支援のために各種の福祉サービスが利用できます。上手に利用して介護などの負担を軽減しましょう。